

2021年度

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

# 事業報告

一般財団法人 大阪科学技術センター



# 目 次

2021 年度事業概況	1
-------------	---

## 【事業活動】

I 普及広報事業（継続事業1）	3
II 技術振興事業	21
1. 技術開発委員会事業（継続事業1）	
2. エネルギー技術対策委員会事業（継続事業1）	
3. 中堅・中小企業技術振興委員会事業（継続事業1）	
4. 地球環境技術推進懇談会事業（継続事業1）	
5. 大阪科学賞（継続事業1）	
6. 学協会の地域活動支援事業（その他事業2）	
III ニューマテリアルセンター事業	31
1. 標準化事業（継続事業1）	
2. 研究開発事業（継続事業1）	
3. 材料技術振興基盤の整備事業（継続事業1）	
4. 学協会の地域活動支援事業（その他事業2）	
IV 地域開発促進事業（継続事業2）	34
V イノベーション推進事業（その他事業2）	35
VI ビル利用促進事業（その他事業1）	38
VII 総合企画活動	41
1. 科学技術振興の基盤づくり（継続事業1）	
2. 賛助会員対応活動（その他事業2）	
3. 経営企画	

## 【総務事項】

I 総務事項	45
1. 会員の状況	
2. 役員等に関する事項	
3. 職員に関する事項	
4. 役員会等に関する事項	

\*括弧内は、公益目的支出計画における事業区分



## 2021 年度事業概況

大阪科学技術センターは科学技術の振興と産業の発展に向け各種事業に取り組んでいる。前年度に引き続き 2021 年度も新型コロナウイルス感染症の影響下での事業活動が続いている。また、近年、国等の委託事業の減少やスキームの変更、企業からの事業協賛や賛助会費の減少など、当財団をめぐる経営環境は厳しい状況が続いている。

### 1. 新型コロナウイルス感染症防止の対応と活動への影響

大阪科学技術センターとしても、第3回緊急事態宣言(4/25～6/25)、まん延等防止重点措置(6/21～7/30、1/27/3/21)、第4回緊急事態宣言(8/2～9/30)により、交流会・懇親会や出張、イベント参加を自粛し、委員会等については、上期は主にオンラインで開催した。

大阪科学技術館は、第3回緊急事態宣言が出された下、政府・大阪府の要請により2021年4月25日から5月31日までの全日、6月1日から6月20日の土曜日・日曜日を臨時閉館した。再開後も感染予防の観点から夏、冬のイベントや休日の実験ショーについては規模を縮小し収容人数の制限を行うなどの対策を取った。

ビル事業における貸会議室については、緊急事態宣言等の発令により、前年度に引き続き貸会場のキャンセルが相次ぎ、収入が大幅に減少した。

緊急事態宣言中等はもとより、解除後もオンラインツールを活用したオンライン会議やフォーラム、グループディスカッションを含むイベントなどで開催し事業継続に努めた。また、昨年度から継続して時差出勤、在宅勤務を推奨し、在宅勤務についてはオンラインツールを活用し、よりセキュアで効率的な在宅勤務を実施した。

### 2. 事業活動の概要

各事業の推進にあたっては、事業分野ごとに設置した委員会等に産学官の各界の専門家を委員として迎え、意見を踏まえながら事業を計画立案し、実施した。

普及広報事業では、今般のコロナ禍の影響も考慮し、大阪科学技術館の本年度の展示改装は見送り、新しい社会に対応した展示手法等を検討しつつ、2023年度の大阪科学技術館60周年記念事業として展示改装の企画準備を行った。科学広報活動については、企業・大学、教育機関等との連携を深め、事業内容の充実化や活動対象の拡大に努めた。また、カーボンニュートラル、SDGsなどの社会的な要請や、コロナ禍での学校・教職員等のニーズに対応し、科学技術・エネルギー等の理解促進に取り組んだ。

技術振興事業では、前半は昨年度に引き続き主にオンラインでの活動となったが、後半からは対面やハイブリッドでの開催を再開した。新規取組として、「産業界におけるカーボンニュートラル研究会」を2月1日に設立した。本研究会は、2050年のカーボンニュートラル宣言を受け業界横断で議論できる場の提供を目的にしており、2022年5月から本格稼働する。また、中小企業向けの新規情報交流事業を立ち上げ、中小企業で喫緊の課題となっているDX(デジタル・トランスフォーメーション)を取り上げ、2022年度より本格的に活動を開始できる体制を整えた。

金属系新素材の標準化事業を実施するニューマテリアルセンター事業でも、会議のオンライン開催で意思疎通を行い、開発した各種測定法の「IS(国際標準)の制定・発行」、「TR(技術報告書)の制定・発行」により国際標準化を大きく進めることができ、この分野における我が国のプレゼンス向上に貢献した。

イノベーション推進事業では、人材養成事業については、リーダー人材を育成する「ネクストリーダー育成ワークショップ」を上期と下期で計2テーマ実施し、またテーマ毎の専門人材を養成する専門集中講座で

は、「AI、IoTによるスマート製造2日間集中講座」、および新たに立ち上げた「プラント運転・保安等で求められるデジタル技術人材の育成講座」の2講座を実施した。新型コロナウイルスの感染拡大の状況に鑑み、いずれもオンラインの形態で開催したが、場所を選ばない特性を活かし関西以外の遠方から複数の参加者を得られた。また、「うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」の事務局として、「みどりとイノベーションの融合拠点」の実現に向け、経済界や行政等と連携し、先行事業やプロモーション事業などを実施するとともに、総合コーディネート機関設立に向けた組織の詳細設計と設立準備を行った。

一方、当センターの事業基盤であるビル事業では、度重なる緊急事態宣言等の発令により、貸会場のキャンセルが相次いだものの前年度からは若干回復の傾向がみられた。緊急事態宣言等の解除後には、固定客や、近隣顧客を中心に一時的に回復がみられたが、2022年1月にまん延等防止措置が発令され再び低迷することとなった。ビル改修工事においては、計画に沿った劣化の著しい部位の工事を実施した。

総合企画活動では、賛助会員に向けた活動においては、当財団へのニーズや社会的なニーズを把握するため、会員へアンケート調査を行い、活動に反映するとともに、科学技術情報をHP、メールマガジンにてタイムリーに広報することにより、会員の満足度向上に努めた。また、2021年度期中に3か年を策定し、「事業変革起点の構築」と位置付けた3か年(2021-2023)計画をスタートさせ、1年目の重点施策を計画通り推進した。

各事業の詳しい事業報告を次項以降に記す。

# I 普及広報事業

わが国の科学技術水準の向上に寄与すべく普及広報事業では、次世代を担う青少年ならびに一般市民を対象に科学技術への理解を増進するため、「大阪科学技術館の展示・運営」と「出前授業等による科学広報活動」を両輪として活動した。

大阪科学技術館の展示・運営では、出展者の協力による科学技術・産業技術の展示に加え、実験や工作等のイベントを定期的に行うことで、次世代を担う青少年に科学技術や産業技術を体感する機会を設けた。

また、科学広報活動では、コロナ禍への対応を行いながら学校、子供会、教職員等幅広い層を対象に、科学技術への関心を高めるべく出前授業・講座等を展開した。

なお、「新型コロナウイルス感染症」感染予防ならびに拡大防止に関する政府・大阪府の要請により、大阪科学技術館は4月25日(日)～5月31日(月)まで臨時休館とし、6月1日(火)～20日(日)の期間中、土曜・日曜日については臨時休館とした。

2021年度は以下の項目について重点的に取り組んだ。

- ①大阪科学技術館については、今般のコロナ禍の影響も考慮し、本年度の展示改装は見送り、新しい社会に対応した展示手法等を検討しつつ、2023年度の大阪科学技術館60周年記念事業として展示改装の企画準備を行った。
- ②科学広報活動については、企業・大学、教育機関等との連携を深め、事業内容の充実化や活動対象の拡大に努めた。また、カーボンニュートラル、SDGsなどの社会的な要請や、コロナ禍での学校・教職員等のニーズに対応し、科学技術・エネルギー等の理解促進に取り組んだ。

## <委員会活動>

### 1. 普及広報委員会（産業界 31 名、団体 7 名：委員会 2 回）

#### ・第 87 回普及広報委員会

日 時：2021 年 10 月 25 日(月) 15:30～17:15  
場 所：大阪科学技術センター 8 階 中ホール（オンライン・対面併用開催）  
議 案：2021 年度上期普及広報事業報告について  
2022 年度大阪科学技術館展示事業協力金について  
2023 年度（第 34 回）大阪科学技術館展示改装について  
その他

#### ・第 88 回普及広報委員会

日 時：2022 年 3 月 8 日(火) 14:00～15:30  
場 所：大阪科学技術センター 7 階 700 号室（オンライン・対面併用開催）  
議 案：2021 年度普及広報事業報告について  
2022 年度普及広報事業計画について  
第 34 回大阪科学技術館展示改装について  
その他

### (1) 展示部会（産業界 20 名、団体 7 名：部会 2 回）

#### ・第 117 回展示部会

日 時：2021 年 10 月 13 日(水) 14:30～15:30  
場 所：大阪科学技術センター 4 階 404 号室（オンライン・対面併用開催）  
議 案：2021 年度上期展示事業報告について  
2022 年度大阪科学技術館展示事業協力金について  
2023 年度（第 34 回）大阪科学技術館展示改装について  
その他

#### ・第 118 回展示部会

日 時：2022 年 3 月 4 日(金) 15:00～16:00  
場 所：大阪科学技術センター 4 階 404 号室（オンライン・対面併用開催）  
議 案：2021 年度展示事業報告について  
2022 年度展示事業計画について  
2023 年度（第 34 回）大阪科学技術館展示改装について  
その他

### 2023 年度（第 34 回）大阪科学技術館展示改装ワーキング（産業界 20 機関、団体 7 機関：ワーキング 3 回）

#### ・第 1 回ワーキング

日 時：2021 年 7 月 9 日(金) 15:00～17:00  
場 所：大阪科学技術センター 8 階 中ホール（オンライン・対面併用開催）  
検討事項：①ワーキング・グループ長選任  
②大阪科学技術館 60 周年展示改装（第 34 回）に向けての取り組み  
③見学候補先  
④その他



































































































